

住友金属鉱山株式会社(東証一部)による株式会社モリリカの株式 100%譲受による経営権取得

(合意契約締結時期) 1996年11月

(当社の立場) 双方企業への提案と双方からの依頼による仲介

(案件の意義)

モリリカは、光センサー部品の中堅メーカー(年商約15億)で、財務体質も良好で地味ながらも優良な企業である。しかし、オーナー経営者が高齢で子息も大企業勤務の化学分野の研究者で、後継者難に直面しており、そうした背景もあり、ここ数年の設備投資が十分ではなかった。また、超優良な顧客を持ちながらも、リスク回避のため、先進的な研究開発には遅れがちであった。一方、住友金属鉱山は電子部品事業の発展に、基礎研究に力を入れてはいたものの、顧客ニーズの先取りに欠ける点があった。両社が組むと、マーケットオリエンテッドな製品開発が期待される。また、中堅企業の永続的発展の手段としてのM&Aでもある。